

青 空 通 信

NPO 法人 ウェルコミュニティ飛騨

空町作業所:高山市西洞町 3 番地 0577-35-1559

青葉の家:高山市森下町 2 丁目 8 番地 4 0577-32-8064

平成20年2月8日 発行 第1号

空町作業所・青葉の家 職員からのご挨拶



理事長 柏木 真司



一昨年九月に法人を設立し、今日まで後ろを振り返る余裕もないまま、法人理念の実現に向け新たな行動を起こしていかななくてはならないと思いつつも、目の前の課題に追われ、それに対応していくのが精一杯といった一年間でした。このような状況の下、ここまで無事活動を展開できましたのも偏に皆様方のご支援の賜と感謝申し上げます。

空町作業所を一昨年十二月に開所し、年が変わって四月に小規模作業所青葉の家との事業合併を行い、二つの作業所を運営することとなりました。ゼロからスタートした法人が、いきなり四十名定員の作業所を運営することは苦勞する点もありますが、それ以上に社会の中での存在価値が高まるといったメリットがあり、発足わずか一年の作業所でありながら、福祉・教育関係機関や行政機関にはかなり認知していただいていると自負しています。

二年目を迎え、これからは地域の方々にも私たちの活動を知っていただけるよう地域貢献活動を行っていきたいと思います。その一つとしてボランティア活動があります。地域の美化や各種行事のお手伝いなど、地域の方々への恩返しをしたいと思います。何かご要望がございましたら、是非、お知らせいただきたいと思います。

私たちの活動モットーは、障がいのある方を人生の主役にする事です。その実現に向け、これから取り組んでいかなければならないことは山積みです。障害者自立支援法の施行により、福祉の現場には逆風が吹き荒れていると言われますが、私はそのようには思いません。このような時だからこそ、無駄なものはなくなり、真に必要なサービスだけが残っていくと思います。

今、障がいのある方に何が必要で求められているのかを常に考え、障がい者の立場に立ったサービスを提供していくことで組織は発展していくと考えています。どうか、皆様には引き続きご支援賜りますとともに厳しい率直なご意見も頂戴したいと思います。私たちは真摯に受け止め改善し、より一層、信頼していただける組織を目指していきたいと思います。何卒、よろしくお願いいたします。



空町作業所所長 大坪 謙一



一昨年の十二月一日当初は、一名の利用者でスタートした作業所も二年目に入り登録者十五名を数えるまでになりました。その間、利用者の増員、事業収入の安定など課題を一つ一つ解決していかなければいけない毎日でした。

最初の頃、何も分からず始めた農業、本を見ながら作ったビーズ細工、手作業で時間がかかり、なかなか思い通りの形にならず投げやりになった木工など、手探り状態で繰り返し繰り返し何度もやり直しをする毎日でした。しかし、出来上がった作品を手にした利用者一人一人の顔には、少しずつではあるけれど自信が付き、笑顔で力強く「やればできる、もう一つ作ってみよう！」と言えるまでになりました。

こうして二年目を迎え、ますます作業内容を充実させることはもちろん、常に相手と対話し、相手を理解し、相手に

感謝し、自分に自信が持てるように、スタッフ一同力を合わせて、更なる「一歩前進を！」を目指して行きたいと思えます。



空町作業所生活支援員 遠藤 裕美



最初は右も左も分からず、本当に悩みました。2ヶ月ほどして、木工細工やビーズなどのアクセサリを作ることができるようになりました。利用者の方々の努力される姿と前向きな姿に力を得て、売上也あげていくことが出来るようになりました。開所当時には数日しか来られなかった方も今、コンスタントに通って来られるようになりました。アットホームな作業所ですが、皆真剣に作業に取り組み、新しい作品づくりに日々努力しています。みんなで、作業の向上のため、それぞれの悩みや問題を話し合いながら、がんばっています。心を開放でき、一日一日を大切にしていける場所としてスタッフ一同頑張っていきたいと思えます。



空町作業所作業指導員 中谷 まい



昨年一月から勤めさせていただいています。初めは何も分かりませんでしたが、商品を皆でいろいろ考え、ビーズやヘンプ、木工などの商品を作るようになりました。毎日コツコツゆっくり自分のペースで丁寧に作っています。この商品は、高山市内のお店に置いていただいたり、バザーなどで販売しています。利用者の方と営業に回ったり、バザーなどで売った時にお客様の声を聞き、その声を参考に日々新しい物を考えて作っています。本当に昨年一年、皆様の協力と利用者の方々の努力でここまでくることができ、感謝の気持ちでいっぱいです。充実した一年だったと思えます。今年も笑顔の絶えない作業所でありたいと思えます。そして、さらに新しいものを考え、挑戦していきたいと思えます。スタッフ一同全力で頑張ります。



青葉の家主任作業指導員 野中 常雄



昨年4月より「青葉の家」でお世話になっております。15年間ほど東京で過ごし、数年前に高山へ戻り、通信教育等で精神保健福祉について学ぶ一方で、家業のほか、前の職場から引き受けた仕事等をしておりました。

東京にいた時、部屋の壁に「逆さ世界地図」を貼っていました。オーストラリアなど南半球の国で(主に観光のお土産として)売られているらしく、北と南が文字通り逆さになり、日本は地図の下方に、まるっきりアベコベの形で描かれています。同じ世界なのに、立場(見る位置)によって全く違う姿になることに気付かされます。あるいは欧米で使われる世界地図には、日本は東端にかろうじて小さく描かれます。

自分の固定した位置からだけでなく、“とらわれない心”で色々な立場から物事を見ることができたらと思えます。ご指導ご鞭撻のほど何卒よろしくお願い申し上げます。



青葉の家生活支援員 光賀 浩子



私は、旧青葉の家から引き続き、生活支援員として勤めさせていただいています。

障害者自立支援法の施行並びにNPO法人化ということで今までの枠を越えて、いろいろな障がいのある利用者と接することは日々勉強であり、同時に反省や戸惑いを感じることもあります。至らないことも多々ありますが、スタッフ同士で相談し合いながら取り組んでいきたいと思えます。

新しい職員を紹介



藤井 洋子



今年はじめから皆さまの輪に加えさせていただいております。学生、事務員、販売員など、さまざまな経歴を経て高山に辿りつき、ご縁があって青葉の家にお世話になることになりました。すべては糧になるという信念のもと、明るく素直に励んで参ります。何もかも初心者ですので、至らない点など目に余ると思いますが、ご指導ご鞭撻のほどよろしくお願いいたします。

活動報告・・・平成19年4月～平成20年1月



4月14日(土)・・・春の高山祭りバザー (空町のみ)

観光客の方々がたくさん見てくださり、買っていただきました。感謝の気持ちでいっぱいです。

5月11日(金)・・・お花見 城山にて (青葉のみ)

6月16日(土)・・・そば打ち教室 きららハウスよりお招きいただきました

6月3日(日)・・・若いミセス生活学校物を活かす交換会手伝い・バザー

6月24日(日)・・・グリーンマーケット参加 出店 原山 (青葉のみ)

6月29日(金)・・・市内散策と俳句・座談会 雨降りのため座談会のみ

7月7日(日)・・・八日市出店 国分寺境内にて

7月29日(日)・・・ふれあい夏まつりバザー参加 ぽっぽ公園にて

8月・・・本町夏まつり (空町のみ)

8月7日(火)・・・七夕祭り出店 (空町のみ)

8月8日(水)・・・バス旅行 牧歌の里 動物とのふれあい、お花見、温泉

8月21日(火)・・・バザー 場所:飛騨市文化交流センター

9月20日(木)・・・第31回岐阜県精神障がい者家族大会 in 高山

9月29日(土)・・・福祉フェスティバル参加 ぽっぽ公園

10月4日(木)・・・サイコリンピック参加にて岐阜市へ

10月18日(木)・・・地域交流りんご祭り参加 久々野もだに農園



10月21日(日)・・・北校区バザー出店(青葉・空町合同)

10月28日(日)・・・南校区バザー出店(青葉・空町合同)

11月8日(木)・・・こころの健康フェスティバル参加(岐阜市)

11月17日(土)、18日(日)・・・物を活かす交換会手伝い・バザー(青葉・空町合同)

12月15日(土)・・・感謝の集い(青葉・空町合同)

12月28日(金)・・・食事会(空町のみ)

バイキングに行きました！カロリーや食べすぎを気にせずに、いっぱい食べてきました。おいしかったです。おなかも心も満足満足！

1月4日(金)・・・新年初顔合わせ (青葉・空町合同)

あけましておめでとうございます。今年もよろしくお願い致します。

新年の挨拶(一人一人から昨年の振り返りと今年の抱負)や正月のゲームをして楽しみました。

1月24日(木)・・・二十四日市出店 (空町のみ)

天気は☁(雪)。寒い中店を出しました。たくさんの方に見ていただき、また買っていただきました。協力してくださった伊藤薬局さん、ほおずきの会の方々、ありがとうございました。



2、3月の行事予定

* 青葉の家 *

- もちつき大会(2月)・・・総合福祉センター
- 調理実習
- 図書館利用・・・①図書館の利用の仕方や公共の場におけるマナーの学習
②書籍を通じて、趣味を深める、広げる、福祉について調べるなど
- 反省会(3月後半)

* 空町作業所 *

- もちつき大会(2月)・・・総合福祉センター
- 図書館利用・・・週に1回 午前または午後の半日利用
- 食事会・・・月に1回(月末)

お知らせ

法人設立2年目をむかえ、今後は広報誌の発行を年4回(季刊)として、作業所と地域との懸け橋となれるよう、積極的な情報発信に取り組んで参りたいと思います。これからもどうかよろしくお願いいたします。

お願い

私達は自主生産活動を通じて環境保護に取り組んでおります。ポカシ肥料・廃食油石鹼・リサイクル封筒・農産物・廃品回収などなど。そこで、以下のご協力を呼びかけております。

◆古封筒やカレンダーなど＝リサイクル封筒づくりに活用させていただきます

◆廃品 特にアルミ缶、そのほか牛乳パック・新聞・雑誌・タンボールなど

ある程度の分量がまとまれば、私どもで引き取りに参ります。ぜひともご協力のほどお願い申し上げます。